

5月27日(土)に、本校を会場として機械製図、電子回路組立、化学分析の3競技が開催されました。

愛知県の各工業高校より、多くの選手が学校の代表として集い合いました。選手達の日頃の技術修得とその努力を発揮し、真剣に競技に取り組んでいる姿を紹介します。



早朝より各競技に参加するため、各学校の選手が本校に集いました。

受付を済ませた選手達は、競技に向けた準備を整えた後、体育館で開かれた総合開会式に出席しました。

競技種目ごとに整列した凛々しい選手の後方には、引率した先生と、日頃より共に練習に励んだ仲間の席が用意され、さらには出場校の旗が並び、選手を力強く後押ししているようでした。

【機械製図競技】



機械製図競技は、製図器具を用いて実際に立体図を平面図に描くとともに、製図の知識に関する筆記試験の合計得点により競われました。選手達は長時間に渡る作業にもかかわらず、集中を切らすことなく真剣に取り組んでいました。

【電子回路組立競技】



電子回路組立競技は、最初は基板に電子部品一つひとつをハンダ付けして作成します。そして、課題として出題される動作仕様とおりのプログラムをコンピュータで作成し、基板に転送します。

左の写真は、今回出題される課題の仕様について説明を選手達が受けているところです。

競技は、製作された基板の配線やハンダ付けの美しさが審査され、組み込まれたプログラムの動作により得点化されて競われました



【化学分析競技】



化学分析競技は、溶液中の成分を抽出し、その濃度を正確に測定します。

また、多くのガラス器具を破損することなく正しく取り扱えるかなど、分析に関わる処理手順が点数化されて競います。

競技開始前は椅子に座っていますが、いざ競技が始まると立っての作業が続きます。

選手の一挙手を、試験官が眼を光らせる中で、皆冷静に作業に取り組んでいました。

カルシウムなどの成分を抽出する選手達の集中力は、素晴らしいものでした。

競技が終了し採点の結果により、それぞれの表彰式と閉会式が執り行われました。
上位の選手は、上位大会でその技を争う愛知県の代表として選出されることになります。
競技の性質上、各選手の順位は出ますが、出場選手皆が金メダルに値する活躍で、光り輝いていました

